# mROSチュートリアル 的なサムシング

京都大学

森 智也

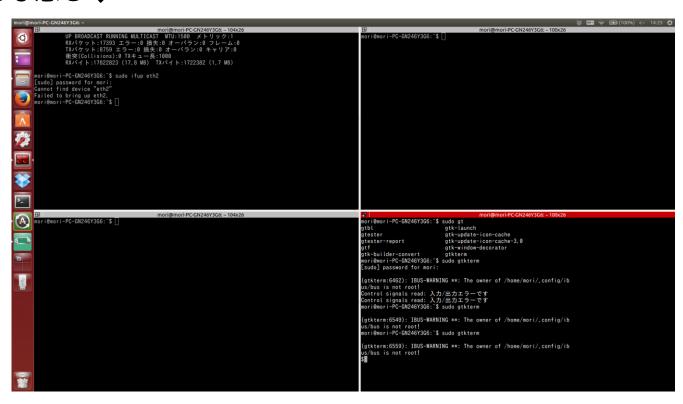
mori@lab3.kuis.kyoto-u.ac.jp



# mROS のセットアップ

## mROSの設定: Ubuntuの準備

- Ubuntuのほうでターミナルを4つ立ち上げます
  - で分割できるターミナルが立ち上がります
- Ctr-eで水平分割,Ctr-oで垂直分割できます
- こんな感じ↓



## mROSの設定:機器接続&IP設定

- もろもろの接続を行います
  - 1. ルータを起動
  - 2. gr-peachとルータを接続
  - 3. gr-peachとPCをUSBで接続
  - 4. PCとルータを接続
  - 5. PCのIPとgr-peachのIPを設定

ros\_emb.cpp:19

xml\_call.cpp:148



## mROSの設定:実行コマンド

- mROSの実行方法
- 別ターミナルでそれぞれ以下のコマンドを入力
   \$roscore ROSマスタ実行
   \$rosrun mros\_test mros\_talker パブリッシュノード起動
   \$rosrun mros\_test mros\_listner サブスクライブノード起動
   \$sudo gtkterm シリアル通信コンソール起動

gtkterm Configuration->Load configuration->mros

でピンクになります

```
CONTINUE AND STATE OF THE PRINCIPLE OF T
```

## mROSの設定: mROS側

• 接続が完了している場合, gr-peachのリセットボタンを押すこと

でプログラムが実行されます

シリアルコンソールにネットワーク初期化が走って、IPが表示されます(IPの確認はここで)

```
TOPPERS/ASP Kernel Release 1.9.2 for GR-PEACH(RZA1H Cortex-A9) (Aug
1 2017, 13:52:12)
Copyright (C) 2000-2003 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory
                            Toyohashi Univ. of Technology, JAPAN
Copyright (C) 2004-2014 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory
           Graduate School of Information Science, Nagova Univ., JA
System logging task is started on port 3.
   ******mROS START***********
OG_INFO: network initialize...
 new mutex (ID=0) was created now.
A new data queue (ID=1) was created now.
 new task tcpip_thread(ID=6) with Pri=5 was created now.
 new semaphore (ID=14) was created.
 new task rzal_recv_task(ID=7) with Pri=5 was created now.
 new task rzal_phy_task(ID=8) with Pri=5 was created now.
Network Initialized successfully
   Address is 00:02:f7:f0:00:00
IP Address is 192.168.11.2
NetMask is 255.255.255.0
Gateway Address is 192.168.11.1
    NFO: SUCCESS INITIAL
o: activate publisher task
s: activate subscriber task
    --please type operation-----
o: activate publisher task
s: activate subscriber task
 : Finish mROS
```



## mROSの設定: mROS側

<u>• シリアルコンソールの入力に応じてタスクが起動します</u>

<del>p:パブリッシャータスクが起動</del>

<del>s:サブスクライバータスクが起動</del>

<del>q:mROSを終了します</del>

※通信させるROSノードを先に起動させておいてください

変なことになるかもしれません

パブリッシャータスクではセンサを 使用します

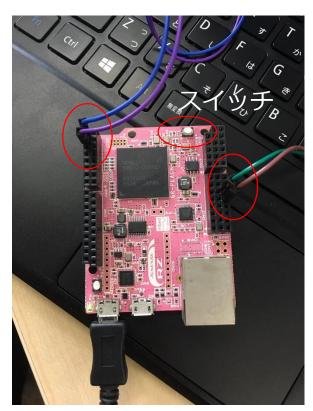
右のようにピンを刺してください

青: Echo-左上 紫: Trig-青の下

緑: Gnd-2段目右上から下に3つめ

茶:Vcc緑の下

スイッチを押すとパブリッシュの 実行/停止が可能です



## mROSの設定:動作確認

- mROSサブスクライバの確認
  - mros\_talkerで文字を入力,入力に応じてLEDが光る red,blue,greenに対応. 二度入力しても消えない 消すときはresetを入力
- mROSパブリッシャの確認
  - mros\_listnerでセンサデータが表示される
- mROSを終了して再度立ち上げる際はROSマスタ, ROSノードも 再起動するgtktermはそのままで大丈夫

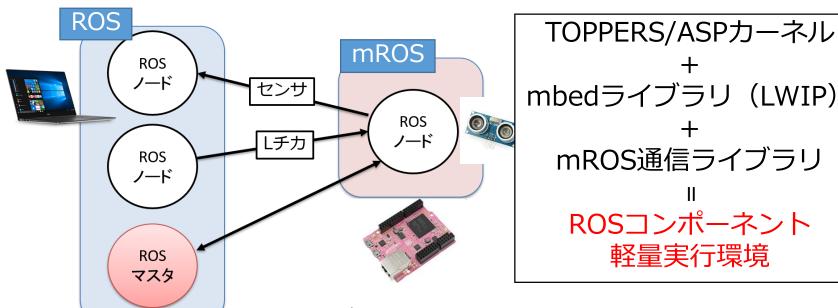
以上,動いてるものは自分の目で確かめてください Let's mROS!

# おまけ

mROSについての説明

### 組込みマイコンでROSノードが実行できる!

Linux上でしか動かなかったROSが組込みマイコンで実行可能! ROSの通信プロトコルをサポートすることで実現!



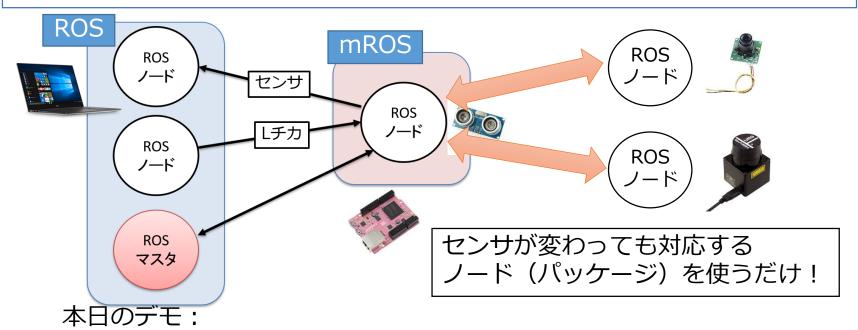
mROSが提供する機能

- ✓ ROSマスタとの通信
- ✓ ノード間でのpub/sub通信

ROSの関数を使って プログラミング可能

### 組込みマイコンでROSノードが実行できる!

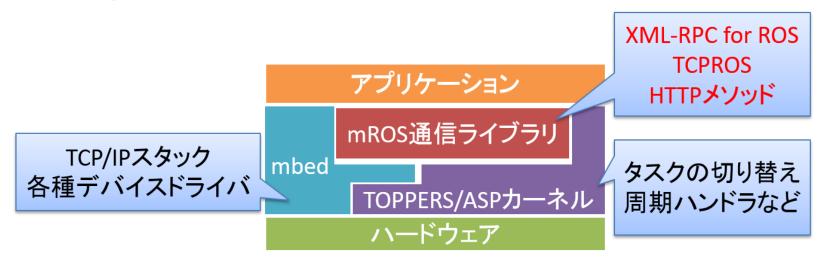
### オープンソースで公開されている既存のパッケージが簡単に使える!



- ✓ PCのROSノードから出版されたLチカ命令をmROSが購読して 組込みデバイスのLEDを光らせる(サブスクライバー)
- ✓ mROSノードが超音波センサが測定した値を出版して ROSノードが購読し、標準出力する(パブリッシャー)

## mROSの構成

- mROS通信ライブラリ
  - アプリケーションに対してROSの通信をサポート
  - ROS仕様の関数を再定義
- mbed
  - LWIPスタックやLEDなどのデバイスドライバを含む
- TOPPERS/ASPカーネル
  - μITRON仕様のリアルタイムOS



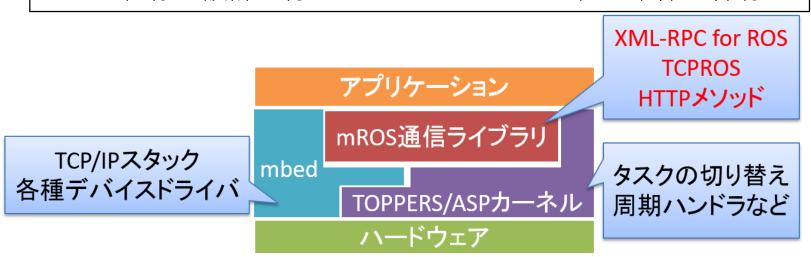
## mROSの構成

- アプリケーション
  - ユーザが定義するプログラム
  - ROSプログラムで使用されるROS特有の関数が使用可能

アプリケーションは組込み記述を気にせずにROS記述可能!

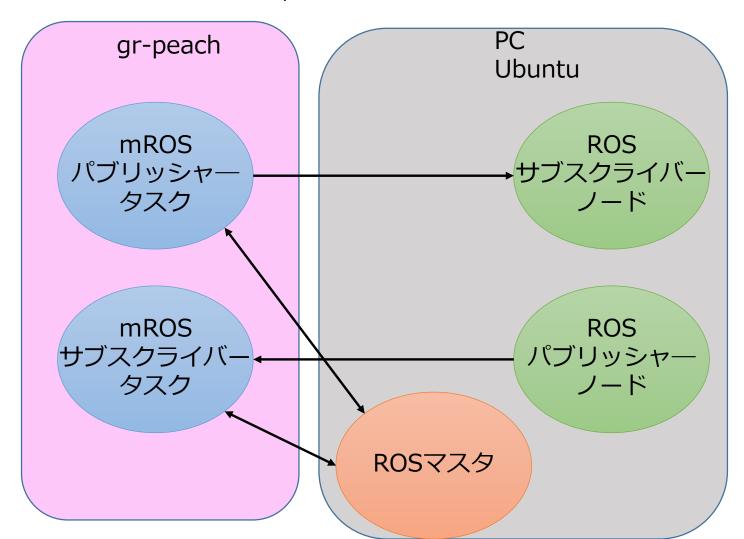
#### or

ITRON仕様の設計を行うことでリアルタイム性の確保も容易!



## mROSの実行タスク

- 今回のmROSはノードをタスクとして実装
  - パブリッシャーノード, サブスクライバーノードがタスク化



## タスク内の処理

- パブリッシャータスクではセンサからのデータを取得して出版
  - ROSにおけるadvertise(),publish()に相当
- サブスクライバータスクでは購読したトピックに応じて処理
  - ROSにおけるsubscribe()に相当
  - 内部でコールバック関数を定義して実行

#### 共通

- メッセージタイプは両者ともstd\_msgs/Stringを使用
- XML-RPCを使用して、マスタおよびノードと通信
- TCPROSプロトコルのデータ処理を実装